

桜町地区第2回まちづくり勉強会 記録

日 時	平成30年11月17日（土） 10時～12時				
場 所	桜町3丁目自治会館 1階				
出 席	22名				
議 題	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dotted black; padding-right: 5px;">1. 第1回勉強会の振り返り</td> <td style="padding-left: 5px;">3. グループ別検討</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding-right: 5px;">2. 今年度の検討内容（再確認）</td> <td style="padding-left: 5px;">4. 今後の予定</td> </tr> </table>	1. 第1回勉強会の振り返り	3. グループ別検討	2. 今年度の検討内容（再確認）	4. 今後の予定
1. 第1回勉強会の振り返り	3. グループ別検討				
2. 今年度の検討内容（再確認）	4. 今後の予定				
質 疑	<p>会 員：前回、質問に挙がっていた“初期消火等を行う自警団的な組織”というのは、消防団のことではなく、地域住民で構成される市民消火隊のような組織のことではないかと思う。また、東京都では、震災時に消火栓はあてにならないと考えて消防水利の整備計画を作っている。一方、川口市では、防火水槽がだんだん公園の1カ所しかなく、1カ所で桜町3丁目全域を賄う考え方なのか。絶対的な数が足りないと思う。</p> <p>次に、平常時の消火活動のための道路を考えるにあたり、消防車の消火栓への寄り付きを考える必要があると思う。消火栓がここにあるからそこまでの道はこういう広さが必要という考え方が必要だと思う。安全・安心の観点から消防車が寄り付くための道がどのようになっているのかが知りたかった。消防車は消防水利を目指して、広い道から真っ直ぐに入れるのかとか、消火栓があっても消防車が入れないと何も役に立たない。120m以内にあるということだけではなく、整備計画でどのように考えているのかを聞きたかった。それによって必要な道路がどこになるのか決まってくると思う。消火器は道路整備とは関係ない。本日の検討の視点の一つ目の消防車や救急車が入れる道というのは、消火栓に消防車がすっと入って行けるかというのが検討ポイントになると思う。その辺を精査していけるとよいと思う。</p> <p>市：平常時については、小規模な消防車を使って消火栓まで行き、消火栓からホースをつないで初期消火にあたる狭隘道路消防計画を設けている。</p> <p>会 員：道路ネットワークの検討の前のどのような地域にしていきたいのかを議論すべきではないかという質問に対する説明があったが、道路をつくることを前提とし、どのように道路をつくるかという話になると、この質問の方向とは違った方向に進んでしまうのではないかと思うが、どのようにお考えか。</p> <p>市：桜町地区のまちづくりは、2年前のアンケートから始まっている。アクセス道路は、きちっとした議論を経ずに決めてしまった経緯があり、改めてアクセス道路を見直しましょうというところからアンケートを実施した。昨年度は、まちづくり懇談会という形で皆さまと何回か議論をさせていただき、桜町地区をどのようにしていくかという、まちづくり懇談会案を取りまとめた。この案をもう一度勉強会でゼロから考えるのも一つの手だが、せっかく取りまとめた案であり、ニュース等で周知しているので、市としてはまちづくり懇談会案を活かし、その中で</p>				

まずは道路整備が有効ではないかということでお諮りしている。道路整備より他が重要との話があれば、それはそれとして受け止めて同時進行することも考えている。まちづくりの基本は道路であり、特にこの地区は密集市街地なので、密集市街地をどうにかしようということでは道路の部分から進めさせていただければというのが川口市の考え方である。

会 員：実際にまちづくりを考えるには、参加者と行政が一緒になって現地を確認する作業が必要だと思う。地図上でもある程度のは分かるが、現場で見ると机の上で議論するのは全然違うと思う。そのような段階を経て、道路をどこにするかを話したほうが良いのではないかな。

市：芝地区でも実際に、勉強会や協議会の皆さまと一緒に現地を見てからどうか議論している。コンサル側でも過去にそのような経験がある。今日皆さまと現地を見るという話もなくはないが、市の考え方としては、皆さまが住んでいるまちなので、まちの状況を精通しているという話の中でエリア毎にグループを分けて意見を聞いている。次回以降、現地に行くということであれば、道路ネットワークの案を持って現地に行くのはやぶさかではないと思う。

コンサル：第1回、今回と地図を通して皆さまの頭の中のイメージだけで、議論しているとなかなか議論がこれ以上膨らまないところもどこかで出てくると思うので、現場の写真や映像を用意しながら議論を進めてはどうかという話もしていた。限られた回数の中で現地を見てみるのも一つの方法だと思うので、その辺は今後の取り組みの中で実際に歩いてみようという皆さまの声があれば一緒に現地を点検するのも良いアイデアだと思う。

会 員：勉強会に参加しているのは、川口市のどのような課か。まちづくりは総合的なもので色々な分野に関わってくるので、そのようなことが私達にも分かるようにしてもらいたい。分からないうちに道路だけつくってしまい、後世に怒られるようなことはしたくない。

市：都市整備管理課だけである。皆さまからご意見をいただいた消防の話等は、議事録をしっかりと取っているので、私どものほうで関係課に確認して随時お答えしていきたい。

会 員：前回話に挙がった財政的な話も、今後どのようになっているのかお聞きしたい。

市：財政部局とはしっかりと協議していきたいと考えている。

会 員：コンフォール東鳩ヶ谷ができたことで、その周りに太い道路ができ、団地から南側に6m以上の道路が一本入った。南側の東公団通りから坂を降りて地区内に入ってくる道路（浄水場西側の道）は、途中までは車がすれ違えない状況であり、団地前の一本の道路で桜町3丁目の南側に行くのは非常に不便で、誰が見ても道

路をまずは確保しなければいけないだろうと思う。しかし、これだけ込み入った地域に、芝地区のように碁盤の目で道路の線を引くことができるのかどうか、市ではどのようにお考えかお聞きしたい。

市：芝地区は耕地整理という大正時代につくったルールで田圃や畑を整理するために碁盤の目で区切っている。そのため、桜町地区とは歴史的背景が異なる。桜町地区では防災上安全な道として必要な路線を何本か作り、最低限のネットワークをつくることを考えている。

会 員：実際に桜町地区の道路を歩いてみたが、全体的に道が悪いと感じた。また、前回事例として挙がっていた芝地区の道路も少し見てきたが、芝地区はフラットで、桜町地区は凸凹していて高低差があるため、桜町地区の参考にはならないと感じた。また、これまでの意見を見ると、山あり谷ありで水が出るといったソフト面の意見が多く、ソフト面でまとまってきたかと思う。一方、道路はハードの話で100年必要であり、後々簡単に換えられるものではないので、引くとなれば思う存分にやっていたらいいかといけませんが、住んでいる人達にとっては覚悟しなければいけないことだと思う。もし、アクセス道路として広い道路を引くのであれば、対象になる方の今後の住まいも考えてもらいたい。また、旧鳩ヶ谷市と接続される道路計画は少ないと考えている。現在は合併し1つの市になったので、桜町地区だけでなく、周辺状況をふまえた道路計画としてふさわしいかを考えた道路づくりにしてほしい。

市：基本的には桜町地区の中での話を進めるが、他の地区や課と調整していかねばいけない部分もある。同じ川口市内なのでそういうところは関係各課と調整して道路はなるべく結び付けていくような形で、優先順位はあるが考えていきたい。

グループ別検討の記録

A班の記録

ステップ1: 必要な道路

①消防車や救急車がスムーズに入れる道

- ・そもそも消防車が入れる道路の幅はどれくらいか（→通常は 4m の道路でも消防車は通れる。ただし隅切りの有無などで状況が異なる）
- ・4m 未満の道路が問題である。U ターンできる場所や、つながっている道路かどうか等をよく確認しないと検討が進まない。道路の状況は現地を見て回り、住民の話を聞くべきである。
- ・せめて救急車が入れるようにしたい。
- ・3丁目の東側のエリアも狭い道路が曲がりくねっていて、消防車は入りづらい。

②震災時に住民が安全に避難できる道・④駅や買い物に行くとき等に利用しやすい道

- ・②と④の道路は分けることなく一緒に考えてよいのではないか。
（落合公園から駅へ向かう道路）
- ・駅ができてから人通りが多くなった。
- ・途中、マンションの前の部分で狭くなる。他にも、南側が崖に面していることや、北側に水路があることが道路を拓げる際に問題である。水路に蓋をして上部を道路にできないか。
- ・バイクが通らないようにしたい。ポールを置くとかできるとよい。避難の際には障害となるが。
- ・抜け道になるおそれもあるので、何らかの工夫が必要
- ・拓げるのであれば、中途半端な道路幅にせず、車も人も通れる広い道にすべきではないか。
（スーパーへ向かう道路）
- ・歩いて3丁目の東側を通る方、県道を通り歩いていく方、車でバス通りまで出て向かう方など様々。

③通学・通勤や散歩をするときに安全かつ安心して歩ける道

- ・落合公園から桜町小学校につながる通学路は、午後になると車も多く行き来する。大雨の際も雨水が県道側から流れ込み、安全上も問題がある。子供の安全性を考えて道路を検討すべきである。
- ・県道の歩道のでこぼこを改善すべきである。
- ・人が一人しか通れない。

⑤車が移動しやすい道

- ・地区中央から県道に出るには、浄水場の前を歩いてバス通りにする。
- ・車が移動しやすいという視点は、あまり重要ではない。

ステップ2: 必要と考える道路

- ・地域から駅へ向かう道路と、南側のバス通りに抜ける道路が骨格となる道路といえる。
- ・地域から駅へ向かう道路を拓げるのならば、県道へ出る部分をまっすぐに整備できないか。最近できた新築のお宅があるので難しいか。

その他

- ・勉強会の参加者の意見で道路の計画がつけられることに抵抗がある。地域住民に文句を言われるのは困る（→道路計画は、参加者の皆様のご意見を参考にさせて頂き、最終的に市が決定する。）

【A班】

凡例

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上

・県道へ出る部分をまっすぐに整備できないか

・バイクが通らないようにしたい。ポールを置いてはどうか

・抜け道になるおそれもあるので、何らかの工夫が必要

・マンションの前の部分が狭い

・南側が崖、北側に水路があることが道路を拓げる際に問題となる

がけ

水路

スーパー

凡例

【必要な道路】

- ① 消防車や救急車がスムーズに入れる道
- ② 震災時に住民が安全に避難できる道
- ③ 通学・通勤や散歩をするときに安全かつ安心して歩ける道
- ④ 駅や買い物に行くとき等に利用しやすい道
- ⑤ 車が移動しやすい道

【必要と考える道路】

※A班で出した意見を図に反映したもの

・狭い道路が曲がりくねっている。消防車は入りづらい

・4m未満の道路が問題である。Uターンできる場所や、つながっている道路かどうか等をよく確認しないと検討が進まない

桜町
小学校

・Uターンできる場所やつながっている道路かどうか等を現地を見て回る必要あり

・交通量や冠水状況など子供の安全性を考えて道路を検討すべき

・落合公園から駅へ向かう道路と、浄水場横からバス通りに抜ける道路が骨格となる道路といえる

・中途半端にせず、車も人も通れる広い道にすべき

B 班の記録

ステップ1: 必要な道路

① 消防車や救急車がスムーズに入れる道

- ・浄水場西側の道路は、部分的に狭くなっているため、消防車が入って来られるように改善できると良い。ただし、沿道の樹木は撤去しないでほしい。

② 震災時に住民が安全に避難できる道

- ・高台の団地側だけでなく、赤山側にも避難できるのが望ましい。

③ 通学・通勤や散歩をするときに安全かつ安心して歩ける道

- ・地区東側は、幅員の広い団地外周道路があるので良いが、落合公園から西側は、通学路の部分をしっかりした道路にできると良い。
- ・水路に蓋をかけてしまうと、マンホールが浮き上がるという話を耳にしたことがあるので、金網状（グレーチング）にできると良い。

④ 駅や買い物に行くとき等に利用しやすい道

- ・落合公園から駅に向かう道を整備できると良い。

⑤ 車が移動しやすい道

- ・落合公園東側の分岐点から北側に、車が抜けられる道路が出来ると良い。
- ・北東側の道は狭く入り組んでおり、介護福祉車両が入れない。バックで入り、前から出ている状態。小型車でも通り抜けられるようにできると良い。しかし、私道なので整備が難しいか。

ステップ2: 必要と考える道路

- ・既に沿道に人が住んでいる道を広げるのは厳しいと思う。広げられるのは、地域から北側に抜ける道路ぐらいではないか。
- ・落合公園から新井宿駅に抜ける道は、水路に蓋をかけて車が1台でも通れる道幅にできると良い。クランク部分の解消は課題である。

その他

- ・住塚公園は震災時、団地居住者が使用すると思われるので、団地西側の市有地や浄水場の敷地を災害時に使用できると良い。市有地には災害時に使えるトイレを整備してはどうか。浄水場は、建物も含めて使用できるようにしてもらいたい。
- ・空き家を撤去して避難できるようにできないか
- ・鳩ヶ谷浄水場では、定期的にオーバーフロー水が排水されていると聞く。消防用水等として有効利用できると良い。
- ・落合公園をかさ上げし、下に貯水槽を設け、浄水場のオーバーフロー水や雨水を貯水できるようにしてはどうか。

【B班】

凡例

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上

・駐車場になっているので上げられる良い機会

・擁壁が倒れないか心配
・水路に蓋をして車1台でも通れるようにできると良い
・水路に蓋をすると、水が流れ口から溢れるので、金網状のものにしてはどうか

・クランク部分の解消が課題

・嵩上げて、地下に貯水槽を設け、雨水等を溜めて、災害時に消防用水として使用できるようにしてはどうか

オーバーフローした浄水場の水を溜める

・落合公園から西側の桜町小への通学路はしっかりさせたい

・物資配給の拠点とらないか

・部分的に狭くなっているので、改善して消防車が通行できるようにできないか
・拡げる場合は、沿道の樹木は撤去しないでもらいたい

・建物も含めて、災害時に使用できるようにできないか
・オーバーフロー水を消防用水等に活用できないか

・災害時に使用できるようにしてもらいたい
・災害用のトイレが整備されるとよい

・団地側だけではなく、赤山側にも避難できるようにしたい

・介護福祉車両が入りにくく、バックで入って前から出ている。小型車が通り抜けられるようになるとうい
・通学路でもあるので道をしっかりさせたいが、私道であるため整備は難しいか
・管理がされていない、私道の修復が課題
・部分的に狭いところもある

・住塚公園は、震災時は団地居住者が使用されると思われる

・災害時に使用できるスペースを別途確保する必要がある

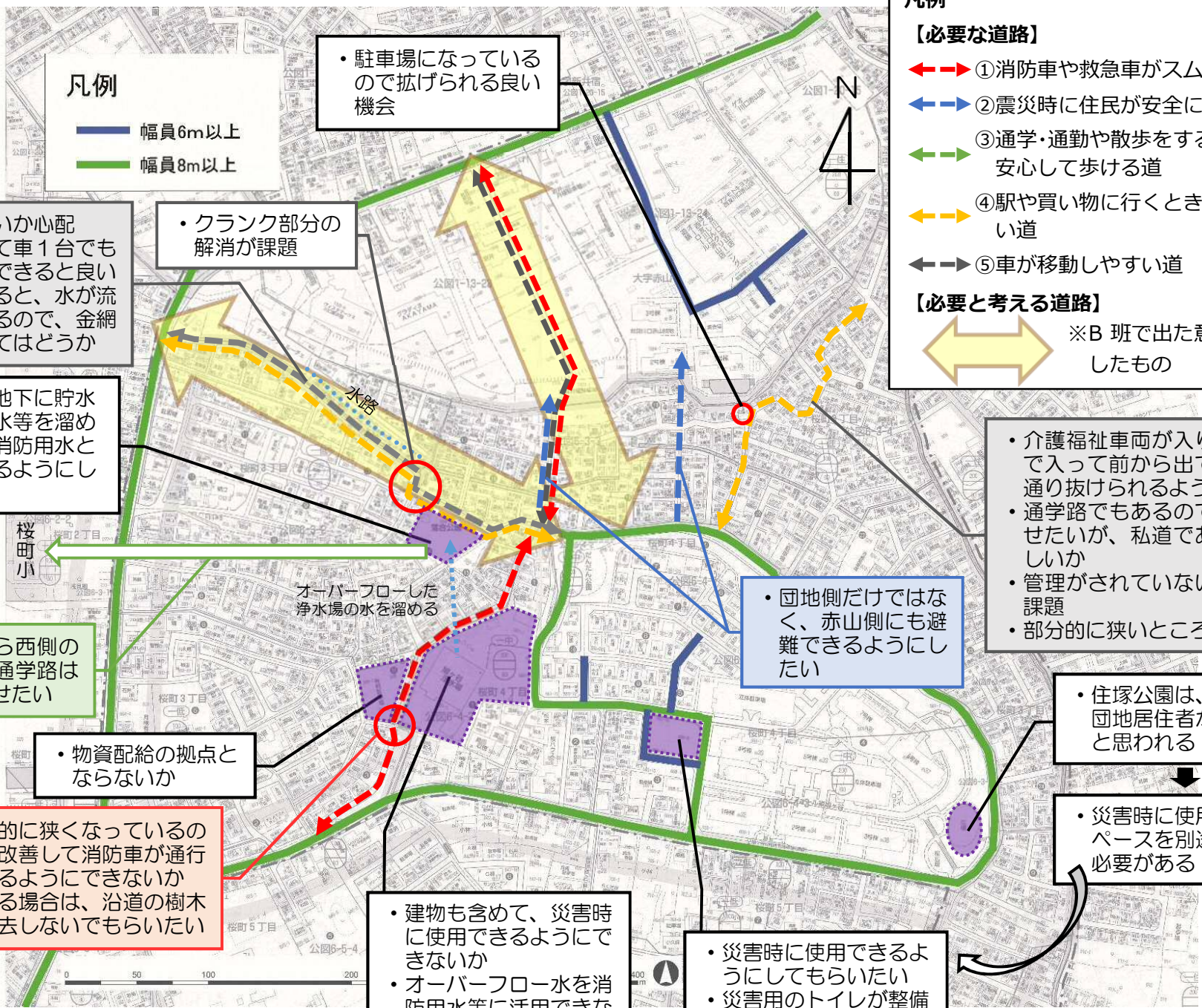
凡例

【必要な道路】

- ① 消防車や救急車がスムーズに入れる道
- ② 震災時に住民が安全に避難できる道
- ③ 通学・通勤や散歩をするときに安全かつ安心して歩ける道
- ④ 駅や買い物に行くとき等に利用しやすい道
- ⑤ 車が移動しやすい道

【必要と考える道路】

※B班で出た意見を図に反映したもの



C 班の記録

ステップ1: 必要な道路

① 消防車や救急車がスムーズに入れる道

- ・西側の水路沿いの道は、暗渠にするなど整備できると良い。
- ・南西の道は、途中から幅員が狭くなり緊急車両が通れなくなるため整備できると良い。ガードレールを取り除いて、道の東端部分の高低差も解消できると良い。

ステップ2: 必要と考える道路

- ・東西に道路を通す場合、建物のセットバック等大変であるが、南北であれば比較的容易に整備できるのでは。全路線を拡幅することは難しいため、中間の部分などは一部4mでも良いかもしれない。

その他:

- ・こういった防災設備があって、こういった計画があるのかなど、勉強を重ねながら検討を進めたい（進めるべきである）。
- ・道路の話だけが先行しているが、他の設備（避難場所としての公園や浄水場の活用等）も同時に考えていかなければ、道路と設備がばらばらな計画になりかねない（道路と設備が連動しない可能性がある）。
- ・この地区には幅員の広い道路は必要なく、今あるもの（既存の道路や空地、空き家）を活用しながら防災性を高めることを考えたい。
- ・住民だけで一から道路を検討するのは難しいため、まずは市で考えている案を示すべきである。それに対して住民が意見を言った方が検討がスムーズではないか。
- ・防災や住宅関係の部署など、市の所管課の方にも同席いただくと議論がスムーズである。
- ・空き地、空き家を活用して、消防設備や防災公園、車の回転場等を整備できると良い。場所に合った小さな整備で解決する。
- ・市民消火隊の周知を行うべき。また、中学生の消火訓練等を実施し、昼間に災害が起きた時に備えておくことも必要。

【C班】

凡例

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上



凡例

【必要な道路】

- ① 消防車や救急車がスムーズに入れる道
- ② 震災時に住民が安全に避難できる道
- ③ 通学・通勤や散歩をするときに安全かつ安心して歩ける道
- ④ 駅や買い物に行くとき等に利用しやすい道
- ⑤ 車が移動しやすい道

【必要と考える道路】

- ※C班で出た意見を図に反映したもの

・暗渠にして傾斜を緩やかにする等できると良い

・空き地を使えないか

※前回意見

・緊急車両が通れない

※前回意見

・以前救急車が来た際に、ここから先通れなかった

※前回意見

・ガードレールがなくなれば車両通れるようになる

・建物が密集していない場所は比較的容易に道路を整備できるのでは

・全て拡幅するのではなく、この部分のみ4m等も考えられる

・南北の道路が整備されれば、災害時の物資配給などこの部分の道路を使って行うことも考えられる

・防災公園を整備できないか

・避難場所として活用するために職員を再度配置できないか

・東側の植物園の未利用地も活用して、徐々に緩やかにできると良い

